

記入例【申請する全ての方】

学校へ提出する年月日
を記入してください。

※お願い

ボールペン等で記入してください。

えんぴつやインクが消えるボールペンは使用しないでください。

年 月 日

北海道公立高校生等奨学給付金受給申請書

保護者等の氏名を記入してください。

北海

保護者等がない場合は、生徒本人の氏名を記入してください。

します。

【1. 申請者について】

ふりがな	ほっかい いちろう	申請者の電話番号
申請者氏名	北海 一郎	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
申請者住所	〒060-8544 北海道札幌市 北区 中央区北3条西7丁目	
高校生等との関係	親権者 本人 ☐ 訂正する場合は二重線で消してください（訂	

【2. 対象となる高校生等について】

ふりがな	ほっかい たろう	生年月日	昭和 平成 令和	〇 年 〇 月 〇 日
氏 名	北海 太郎			
基 準 在 学 日 現 在 に 在 学 校	学 校 名	北海道〇〇高等学校		
		国 立 ・ <u>公 立</u> 学校 第 2 学年（年次）		
		学校の種類・課程・学科：高等学校（全日制）		
	学校の所在地	北海 都 ^道 府県 〇〇 市 ^区 町村 〇〇〇〇		
	在学期間	令和6年4月1日 ～ <u>現 在</u> ・ （ 年 月 日 ）		
奨学給付金 受給回数	1 回（昨年度までに奨学給付金を受給した回数）			
過 去 の 高 等 学 校 等 に お け る 在 学 期 間	学校名	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	〇〇県立〇〇高等学校		高等学校（全日制）	なし 1回 2回 3回 4回 不明
			☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐	
	学校名		学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
			なし 1回 2回 3回 4回 不明	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

別の高等学校等に在学していたことがある場合は、在学期間等を記載してください。

【3. 同意事項について】

申請書の提出に当たり、次の事項について同意します。（次の内容を確認の上、□全てにレ印を付けてください。）

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私（北） 全ての項目に該当することを確認の上、レ印を付けてください。
- ☒ 高 校 生 ※1つでも該当しない項目がある場合は、給付対象となりません。 の受給状況、道府県民税所得割及び市町村民税所得割額の課税状況、その他北海道教育委員会教育長及び教育局長が必要と認める事項について、関係機関（行政機関及び高等学校等）へ照会等の調査を行うことに同意します。
- ☒ 保護者等又は高校生等が、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する次の給付金は給付されていません。
- (1) 高等学校定時制課程教科書給与事業及び通信制課程教科書学習書給与事業
- (2) 北海道アイヌ子弟進学奨励補助制度
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

記入例【道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税の方】

・次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐ 生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることがわかる証明書を添付します。

※ 様式第4号又は生業扶助（高等学校等就学費）の世帯状況が確認できる『生活保護受給証明書』を

次のいずれかの該当箇所に必ずレ印を記入してください。

① 次の内容を確認の上、ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。

ア 次の者の課税証明書等を提出します。

①	☒	保護者（親権者）2名分 ・生徒が未成年（18歳未満）であり、保護者（親権者）が2名存在する場合	
②	☐	保護者（親権者）を除く。） ・離婚、死別等 ・保護者（親権者）でない場合	合は、その 明書等を提出
③	☐	未成年後見人 ・親権者が存在 ※ 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	全員分)
④	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分 ・生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合	
⑤	☐	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成年に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等	
⑥	☐	生徒本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等	

イ 次の理由により、課税証明書等を提出しません（※添付省略の場合を含む）。

①	☐	所得確認の対象が生徒本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合） ・就学支援金の申請・届出の際、既に「課税証明書」等を提出している又はオンライン申請により個人番号を利用し収入状況を登録又は個人番号を登録している場合に省略が可能です。	所得割を課されるだけの収入を得ていない場合、 ・就学支援金の申請時に控除対象配偶者の課税証明書の提出を省略した場合は、レ印を記入し課税証明書を添付
②	☐	※ただし、就学支援金の申請・届出の際、保護者等全員の課税証明書等を提出していない場合（控除対象配偶者の課税証明書等の提出を省略した場合等）は、奨学給付金では省略できませんので提出してください。	控除対象配偶者課税証明書等提出 省略課税証明書担当者確認 欄※都道府県担当職員記入欄 確認済 ①
☆上記のうち、個人番号を確認できる書類を提出した場合又はオンライン申請により個人番号を利用し収入状況を登録又は個人番号を登録した場合は、次の□に必ずレ印を付けてください。			
	☐	個人番号関係書類の添付を省略する場合 金の申請	を処理するときに限って、就学支援金に同意します。

② （2）に該当する場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☒ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

（扶養親族等の状況について（非課税世帯のみ記入してください。）

必ず確認し、レ印を記入してください。

基準日現在15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の兄弟

扶養親族の状況	続柄	氏名	生年月日	年齢	職業・学校名（学年）等	奨学給付金の申請の有無		課程	備考
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、奨学給付金の申請の有無欄にレ印を付けてください。

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、課程欄の該当する箇所にレ印を付けてください。

※ 扶養状況確認のため、15歳（中学校を除く。）以上23歳未満の兄弟姉妹に係る扶養誓約書（様式第4号）を提出してください。